

「とちけん小町魅力」



男性社会といわれる建設業界ですが、最近は県内の建築・土木の現場で生き生きと働く女性も徐々に増えてきました。しかしながらいまだに「きつい」、「汚い」、「危険」など3K産業と、若い世代からは敬遠されがちです。一般社団法人栃木県建設業協会（渡邊勇雄会長）では、そうした現場のイメージアップを狙い、同協会の青年経営者連合会（青経連、井戸和廣会長）と栃木県県土整備部が協力し、現場で働く女性をメンバーとした「とちけん小町魅力向上委員会」を発足させました。今回、第1回の座談会を開き「建設現場の環境改善」「業界の魅力アップのためにすべきこと」などについて議論しました。

（企画・制作 下野新聞社営業局）

座談会出席者

建設業協会

- 栃木県建設業協会青年経営者連合会
 会長 井戸 和廣氏 (井戸産業(株))
 幹事長 猪股 弘樹氏 ((株)猪股建設)
 中村土建(株) 柏倉 亜美氏
 松本建設(株) 小野崎恭子氏
 (株)山本造園土木 黒川しのぶ氏
 川上建設(株) 板 和恵氏

行政

- 栃木県県土整備部
 技術管理課検査班
 // 建築課 大森 由香氏
 // 道路整備課 須藤麻里子氏
 // 都市整備課 高妻由香里氏
 梶 紀子氏



井戸会長

●**司会・猪股** 「とちけん小町魅力向上委員会」座談会を開催します。まず井戸会長からごあいさつをお願いします。

●**井戸** 男性社会といわれる建設業界で、女性が活躍できる場を少しでも広げようと委員会を持ちました。今後、女性ならではの目線を生かし、女性も活躍できるような現場の魅力を発信していただきたいと思います。

◆とちけん小町への思い

一委員会は昨年度から活動が始まっていたようです。

●**小野崎** 建設業界の4人、行政からの4人で3月から活動を始めました。最初に顔合わせと意見交換会を実施し、お互いの現状報告、組織名を決めるため、各自が案を持ち寄りました。2回目は持ち寄った案の中から名称として「とちけん小町魅力向上委員会」を選び座談会の議題などについて話し合ってきました。

●**黒川** 9案が出て、組織イメージ、活動の趣旨を踏まえ決めました。栃木県の建設業に携わる女性の会であることが伝わりやすい点、

今後建設業界に入ってくる若い女性にも魅力ある業種として伝えたいという思いを込めました。

一自己紹介と、業界に入ったきっかけや仕事の内容を教えてください。

●**柏倉** 民間建造物の現場で現場代理人をしています。幼いころからインテリアに興味があり、「自分の部屋を少しでも広くするにはどうしたらいいか」などを考えるようになったのが業界を志すきっかけでした。また祖父が大工であったのも影響しました。

●**小野崎** 設計の仕事に従事したかったので入りました。現在は、建築現場で現場管理をしています。現場を見るだけではなく工程管理、予算管理、施工図作成など最初から最後まで行っています。

●**黒川** 公園の造成工事現場で現場代理人や建設重機での作業など、土木全般に携わっています。中学の時、父に「これからの時代は、女性も手に職を付けなければ」と言われ工業高校に進み建築を勉強しました。でも自分は「建築はあってないな」と思い、当時の上司の助言も受けて土木の世界に飛び込みました。



小野崎氏

